



日本の力を、世界のために。
Supporting Your Global Challenges

平成28年9月期決算概要について

平成28年11月30日
株式会社国際協力銀行

目次

- 1 . 平成28年9月期業績サマリー
- 2 . 中間損益計算書：前年度同期との比較
- 3 . 中間貸借対照表：前年度末との比較
(参考) 外貨貸出の状況推移
- 4 . リスク管理債権等の状況

1. 平成28年9月期業績サマリー

(単位：億円)

	H28.9(A)	H27.9(B)	(A)-(B)
業務粗利益	489	596	107
業務純益	407	515	107
経常利益	661	601	60
中間純利益	662	601	60

(単位：億円)

	H28.9末(A)	H28.3末(B)	(A)-(B)
貸出金残高	131,695	135,406	3,710
うち外貨貸出金	118,270	120,676	2,406
外貨貸出金米ドル換算額(億ドル)	1,169	1,070	98
保証残高	23,894	24,647	752
総資産	174,700	175,806	1,106

- ・業務純益は、業務粗利益の減少等により、前年度同期比107億円減少。
- ・経常利益は、貸倒引当金の戻入等により、前年度同期比60億円増加。
- ・中間純利益は、前年度同期比60億円増加。
- ・貸出金残高は、円貨貸出金の減少及び円高による外貨貸出金の円換算額の縮小により、前年度末比3,710億円減少。

2. 中間損益計算書：前年度同期との比較

(単位：億円)

	H28.9(A)	H27.9(B)	(A)-(B)
業務粗利益	489	596	107
資金運用利益	406	488	81
役務取引等利益	129	102	27
その他の業務利益	47	5	53
営業経費()	81	81	0
業務純益	407	515	107
貸倒引当金戻入額(繰入額)	297	9	307
その他損益	43	95	139
償却債権取立益	0	0	0
株式等売却損益	-	1	1
組合出資に係る持分損益	44	96	140
その他の損益	0	0	0
経常利益	661	601	60
特別損益	0	0	0
中間純利益	662	601	60

当期中間純利益は、662億円となり、前年度同期比60億円増加。主な増減理由は、以下のとおり(以下、増減は前年度同期比)。

- ・資金運用利益は、円高による外貨建て利益の円換算額の減少等により、81億円減少。
- ・役務取引等利益は、新規承諾案件に係る融資取扱手数料の増加等により、27億円増加。
- ・貸倒引当金は、一部与信先の債務者区分の変更等により、297億円戻入。
- ・その他損益は、組合出資に係る持分損の取り込み等により、139億円減少。

3. 中間貸借対照表：前年度末との比較

(単位：億円)

	H28.9末(A)	H28.3末(B)	(A)-(B)
資産の部合計	174,700	175,806	1,106
現金預け金	15,301	12,201	3,099
買現先勘定	-	-	-
有価証券	2,509	2,366	143
貸出金	131,695	135,406	3,710
うち外貨貸出金米ドル換算額(億ドル)	1,169	1,070	98
その他資産等	2,684	2,867	182
支払承諾見返	23,894	24,647	752
貸倒引当金	1,385	1,682	297

資産の部合計は、17兆4,700億円となり、前年度末比1,106億円減少。主な増減理由は、以下のとおり(以下、増減は前年度末比)。

- ・有価証券は、新規の公社債取得等により、143億円増加。
- ・貸出金残高は、円貨貸出金の減少及び円高による外貨貸出金の円換算額の縮小により、3,710億円減少。
- ・支払承諾見返は、保証対象債権の回収等により、752億円減少。

3. 中間貸借対照表：前年度末との比較

(単位：億円)

	H28.9末(A)	H28.3末(B)	(A)-(B)
負債の部合計	149,773	151,082	1,308
借用金	96,656	94,384	2,272
社債	25,667	26,685	1,017
その他負債等	3,484	5,294	1,809
退職給付引当金	69	70	1
支払承諾	23,894	24,647	752
純資産の部合計	24,926	24,723	202
株主資本	24,079	23,631	448
繰延ヘッジ損益	923	1,049	125
その他有価証券評価差額金	77	43	120

負債の部合計は14兆9,773億円となり、前年度末比1,308億円減少し、純資産の部合計は2兆4,926億円となり、前年度末比202億円増加。主な増減理由は、以下のとおり（以下、増減は前年度末比）。

- ・借用金は、財政融資資金借入金の増加等により、2,272億円増加。
- ・社債は、発行額は償還額を上回ったものの円高の影響による外債の円換算額の縮小により、1,017億円減少。
- ・株主資本は、前年度利益処分に係る国庫納付（214億円）及び当期中間純利益計上（662億円）により、448億円増加。

(参考) 外貨貸出の状況推移

	H26.9末	H27.3末	H27.9末	H28.3末	H28.9末	増減率 (H28.3末から H28.9末)
貸出金(億円)	135,783	144,329	144,596	135,406	131,695	2.7%
うち外貨	116,875	126,195	128,346	120,676	118,270	2.0%
外貨割合	86.1%	87.4%	88.8%	89.1%	89.8%	-
外貨USD換算額(億ドル)	1,067	1,050	1,069	1,070	1,169	9.3%
ドル-円 為替レート	109.45円	120.17円	119.96円	112.68円	101.12円	-

- ・H28.9末時点の貸出金残高(円貨・外貨合計)は、13兆1,695億円。
- ・貸出金総額に占める外貨貸出金の割合は、増加傾向。
- ・外貨貸出金は、外貨ベース(米ドル換算ベース)でH28.3末比9.3%増加となったが、円高の影響により、円貨ベースでは2.0%減少。
- ・外貨貸出金残高のうち、米ドル建のものは、H28.9末時点で11兆2,218億円(1,109億ドル)であり、残高の94.9%を占める。

4 . リスク管理債権等の状況

(1) 銀行法施行規則基準

(単位 : 億円)

	H28.9末(A)	H28.3末(B)	(A)-(B)
破綻先債権	-	-	-
延滞債権	149	1,114	965
3ヵ月以上延滞債権	446	447	1
貸出条件緩和債権	1,745	987	758
リスク管理債権合計	2,341	2,548	207
貸出金残高合計	131,695	135,406	3,711
リスク管理債権比率 (/)	1.78%	1.88%	0.10%

(2) 金融再生法基準

(単位 : 億円)

	H28.9末(A)	H28.3末(B)	(A)-(B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	-	-	-
危険債権	149	1,114	965
要管理債権	2,191	1,434	757
開示債権合計	2,341	2,548	207
正常債権	153,768	157,994	4,226
合計	156,109	160,542	4,433
開示債権比率 (/)	1.50%	1.59%	0.09%

・リスク管理債権残高（銀行法ベース）及び開示債権残高（金融再生法ベース）は、前年度末と比較してそれぞれ207億円減少。

・リスク管理債権比率は1.78%（前年度末比0.10%減）、開示債権比率は1.50%（同0.09%減）。

JBICの中間財務諸表等は、平成28年12月末日までに、「金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム」（EDINET）にて開示予定です。